

# 静原小 学校通信 3号

平成28年6月1日  
京都市立静原小学校  
校長 林 久徳

## いつでもどこでも育つ子どもたち

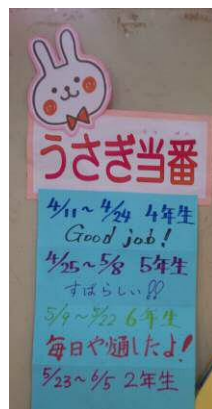
校長 林 久徳

子どもたちの学校生活の中で一番長い時間を占めるのが授業時間です。各教科の学習や総合的な学習の時間、道徳や学級活動などがあり、日々子どもたちは学び成長しています。ただ、学校生活は授業時間だけではありません。子どもたちが楽しみにしている休み時間や給食時間も子どもたちの大切な学びの場です。休み時間に、参加者全員が楽しいと思える遊び方を見つけることはなかなか難しいことですし、給食時間にも多くの学びがあります。

今年度本校で大きくやり方を変えた取組があります。それは昼の掃除時間とウサギのお世話です。子どもたちは昼休みの後に掃除をするのですが、今年から毎週水曜日、金曜日の2日間は学年や縦割りグループではなく、個人で決められたそれぞれの場所を掃除しています。例えば、玄関は5年生の〇〇さん、職員室の前の廊下は1年生の△△さん、階段は3年生の××さんというように割り当て、その場所にはその人の名前カードが貼られています。子どもたちだけでなく、全教職員も担当の指導場所が決められていて、掃除時間は特に不都合がない限り、事務職員さんも、管理用務員さんも、管理職もそれぞれの場所で子どもと一緒に掃除しています。どうしてこんな取組を始めたかという、担任の先生に指示されて教室を掃除したり、縦割りグループで上級生を中心に教えてもらいながら掃除をしたりすることも素晴らしいことですが、「この場所は僕の担当だからいつもピカピカにしておくぞ」「掃除時間じゃないけど、ゴミが落ちているから拾っておこう」というように、自分の意思や判断で学校をきれいにできる人になってほしいと考えたからです。

もう一つの大きな変更点はウサギのお世話です。今までは日替わりで縦割りグループによるお世話をしていたのですが、今年からは2週間同じ学年が担当するようにしました。自分が今日ウサギ小屋をきれいにしておかなければ、明日も汚いままですし、餌をやり忘れたら明日はおなかをすかせたウサギが待っています。学校にもウサギのえさを用意しているのですが、当番の時は、畑に草引きに行ってウサギの好きそうな草を集めてそれをあげます。自分の当番を意識していて、お家からキャベツの葉やニンジン

の皮を持ってきてくれる子もいます。本校で一番子どもたちに身に付けて欲しい力は自覚的実行力です。自分に仕事が任せられ、責任を持って仕事をやり遂げるところから育つ自覚的実行力もあります。学校生活の様々な場面で子どもたちが自分の力を伸ばして欲しいと願っています。



## 田植えをしました

今年も学校の近くで児童が手植えできる範囲の田をお借りして、稲作に取り組んでいます。地域の方には、田の準備や苗の調達等までお世話になりました。田植えは、すべて手で植えること、機械を使わずに耕すことなど自分たちでできることは自分



たちでするように計画していきます。また、地域の方の機械力のありがたさや豊富な知識もありがたいと子どもたちは感じています。常に自分たちの育てている作物に関心を持ち、観察して、状況の変化に気づき、確実に行動できることも児童のめあてとして進めています。

## 防犯訓練



児童の訓練でもありますが、教職員にとっても重要な訓練です。「さすまた」の使い方に慣れる良い機会となりました。警察が110番通報の後に到着するまで、不審者を押さえておく訓練もしました。不審者役の方に対してさすまたを使用してみるのですが、実際に使うのと頭で分かっているのでは大きな違いがあることが実感できます。毎年の訓練ではありますが、重要な訓練と考えて実施しています。児童の安全を守ること、そのた

めに教職員が連携して対応することや警察など関係機関へ応援を要請することなどを実際にしました。どのような対応をするか、見えたこと連絡のあったことなどから対応を考えて行動していきます。児童へは、不審者に出会ったときの対応の仕方、「たすけてー」と大きな声を出すことや防犯ブザーを使うことなど、警察の方に教えていただきました。声の大きさも測定していただき、どのグループも防犯ブザーよりも大きな声が出せていました。





# 給食試食会

試食会という名前で、開催していますが、試食や給食活動の参観だけでなく、給食についての話、学校給食の現状や家庭と学校を結ぶ学校給食についてのお話を栄養教諭からさせていただくこともしています。

＜参加者の感想＞

○出汁からとるなど、こだわりを伺ってからの試食は格別においしかったです。子どもが嫌いな物も給食なら残さず食べる理由が分かった気がします。食材や調味料などの原料や産地も気になっていたの、詳細が知れて良かったです。ありがとうございました。

○おいしく頂きました。今回参加させていただいて、正直こんなにいいものに作っていたにびっくりしました。毎日どうだったと聞くと、おいしかったと感想を聞かしてくれます。私自身も参考にさせていただきたいと思います。

○おいしかったです、特にご飯が。いつも子どもたちの為にありがとうございます。これからもおいしい給食をよろしくお願いします。

○子どもたちのことを考えて、栄養バランスや量などを調整してくれていることに感謝します。毎年試食会に参加させてもらっていますが、いつもおいしくて毎年楽しみにしています。

○子どもたちの為の給食に、いろいろと気をつけてもらえていて、その食事に意味を感じました。家では野菜嫌いや偏食があり、なかなか摂れない栄養も少しずつ摂れるよう家庭でも努力していきたいです。

○子どもたちの給食には色々な食材が使われていて、季節を感じられるメニューになっているのだと感じました。とてもおいしい給食を毎日子どもたちが食べられて幸せだと思います。

○小学校の給食が、こんなにも「本物の味」を考えて作られていることに感動しました。学校が丁寧に指導してくださっていることを家庭でもちゃんと生かしたいと思います。自分の小学校時代の給食とイメージが大きく変わり、とても美味しくいただきました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

○前はパン食で、今回はごはん食をいただいて両方の給食を楽しめてうれしかったです。おかずもとてもおいしかったです。いつも給食を作っていてありがとうございます。  
\*また参加したいとの声もありました。



# 遠足(比叡山へ)

春の遠足は好天に恵まれて実施することができました。1・2・3・6年生は八瀬からケーブルで登り比叡山の山頂付近にある延暦寺、ガーデンミュージアム、スキー場跡などを回るコースで目的を持ち行動しました。琵琶湖を見ることができました。4・5年生は、修学院駅から、自分たちでしおりにのっている写真や地図を見ながら比叡山人工スキー場跡地までを登りきるという事を目標にして登り切りました。写真を見て道を



間違えそうになった時もありましたが、子どもたち同士で声をかけあい、相談しながら登りきることができました。なかなか険しい山道もありましたが、「ガンバレ」「次細くなるし気をつけて～」「ゆっくりでいいよ～」と5年生が中心になって声をかけ、みんながんばりとおすことができました。スキー場跡地では、6年生が「みんな～ドッジビーするよ～」と声をかけてみんなで楽しく遊びました。1年生と手をつないでゆっくり歩いている高学年の姿から優しさが伝わり、とても気持ちが良かったです。元気いっぱいの子供はスキー場跡の斜面を駆け上がったり、駆け下りたりと走り回って遊んでいました。岩倉がよく見えて、東北部クリーンセンターもはっきりわかり、大原だろうと思われるところが分かり、そのことから静原はあのあたりであることも推測できました。



# タイムカプセル2000年～

4月中旬に静原校の卒業生から連絡があり、2000年の卒業生が埋めたタイムカプセルを掘り起こしたいということでした。その年は2000年という記念の年でもあり、6年生だけでなく、在校生全員がその企画に参加していたということです。そこで、一番人の集まる5月3日のお祭りの日の午前中に当時の子どもたちが集まり、カプセルを掘り起こしました。大きなプラスチックの容器の中には、学年ごとに入れた袋が出てきました。23歳から28歳の若者の顔は、喜びと懐かしさに、どの顔も笑顔いっぱいでした。

